



～第 39 回都市公園等コンクール～
「長井海の手公園(ソレイユの丘)」が
『都市公園制度制定 150 周年記念部門』で国土交通大臣賞を受賞。
同じく、ランドフローラが手掛ける緑地広場「シモキタのはら広場」が『設計部門』で会長賞を受賞。



長井海の手公園(ソレイユの丘)



シモキタのはら広場

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、一般社団法人日本公園緑地協会が主催する令和 5 年度「第 39 回都市公園等コンクール」において、当社が代表企業を務めるエリアマネジメント横須賀共同事業体で受託し、公園の整備工事・管理運営を行う「長井海の手公園(ソレイユの丘)」で、『都市公園制度制定 150 周年記念部門』の国土交通大臣賞を受賞しました。さらに、日比谷花壇グループの株式会社ランドフローラ(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:川村秀一)は、緑地広場「シモキタのはら広場」で、同コンクールの『設計部門』の日本公園緑地協会会長賞を受賞しました。

都市公園制度の始まりとされる明治 6 年(1873 年)太政官第 16 号が公布されてから 150 周年となることを記念し設けられた『都市公園制度制定 150 周年記念部門』の国土交通大臣賞を受賞した「長井海の手公園(ソレイユの丘)」は、2021 年 6 月にエリアマネジメント横須賀共同事業体として Park-PFI(公募設置管理制度)と指定管理者制度を組み合わせた長井海の手公園等交流拠点機能拡充事業を横須賀市から受託し、2023 年 4 月に「365 日誰もが遊び愉しみ尽くせるエンターテイメントパーク」としてリニューアルオープンしました。当コンクールでは、官民連携での実施や既存施設と新規施設との相乗効果を発揮する整備、ダイナミックなランドスケープデザイン、園内コンテンツの新設、更新、拡充等により、地域の観光交流拠点へとリニューアルした点が高く評価され、受賞に至りました。(詳細は別紙参照)

『設計部門』の日本公園緑地協会会長賞を受賞した緑地広場「シモキタのはら広場」は、2022 年 4 月に下北沢駅南西口前に開園した、ランドフローラがチームの一員として実施設計、施工を担当した広場です。今回、地域の声をもとに都会の原っぱづくりを目指し、計画、設計、施工までをチームで作り上げた施設として高く評価され、受賞に至りました。(詳細は別紙参照)

引き続き日比谷花壇グループでは、コーポレートメッセージ「すべての明日に、はなやぎを。」を掲げ、公共施設の管理運営はもとより、多様なすべての人の、それぞれの日々の暮らし、そして人生を、花とみどりを通じてもっと彩り、心豊かなものへと変えていく提案を続けてまいります。

株式会社日比谷花壇について:<https://www.hibiya.co.jp/>

1872 年創業、1950 年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約 190 店舗を展開。ウエディング装花、店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフト、カジュアルフラワーの販売、お葬式サービス、緑を通じた暮らしの景観プロデュース、フラワーグラフィックサービス等を行っています。今後も花や緑の販売、装飾にとどまらず、暮らしの明日を彩り、豊かなものへと変えていく提案を続けていきます。

別紙1

＜『都市公園制度制定 150 周年記念部門』国土交通大臣賞受賞「長井海の手公園(ソレイユの丘)」詳細＞

日比谷花壇が代表企業を務めるエリアマネジメント横須賀共同事業体で受託し、公園の整備工事・管理運営を行う「長井海の手公園(ソレイユの丘)」は、一般社団法人日本公園緑地協会が主催する令和 5 年度「第 39 回都市公園等コンクール」において、『都市公園制度制定 150 周年記念部門』で当コンクールの最優秀賞となる国土交通大臣賞を受賞しました。当コンクールにおいては、Park-PFI を主体に、デザインビルド方式と指定管理者制度を組み合わせた官民連携事業で実施し、新規に設置する収益施設に加え、収益還元を見込める既存施設の改修を公募対象公園施設(管理)として位置づけ、既存施設と新規施設との相乗効果が発揮できる整備がなされたこと、従来の客層からさらに幅広い方々を呼び込めるように、キャンプ施設の充実化やデジタルコンテンツの導入、各種テナントの誘致など、ダイナミックなランドスケープデザイン、園内コンテンツの新設、更新、拡充により地域の観光交流拠点へとリニューアルしたことが大変高く評価され、受賞に至りました。

受賞団体: 横須賀市、株式会社日比谷花壇、株式会社日比谷アメニス、株式会社ランドスケープデザイン、京浜急行電鉄株式会社、株式会社エー・ディーアンドシー、有限会社三浦建築測量、株式会社丸孝産業、株式会社スワン商会、京急サービス株式会社



海と一体となる風景の中で、多様な宿泊体験が可能なキャンプサイトと愛犬同伴も可能な歩道デッキ



新しい公園エントランスとなるヒルトップ広場



相模湾の絶景を眺めながら体験できる約 300m のジップライン

■「長井海の手公園(ソレイユの丘)」について: <https://soleil-park.jp/>

長井海の手公園(通称:ソレイユの丘、神奈川県横須賀市)は、都市公園の整備・運営に全国で初めて PFI 方式を導入し、2005 年 4 月に開園。指定管理者制度による運用を経て、開園 20 年の節目を前に、地域交流の場として更なる魅力増進、集客機能の向上、及び収益性確保を実現するためにリニューアルが実施されました。本事業においては、「Park-PFI 制度+指定管理者制度+DB 方式」を用いて、公園施設の整備や改修の他、新たな宿泊・飲食物販・アスレチック等の収益施設の整備を行い、運営が開始されました。今後 19 年間に渡る事業期間では、地域の魅力を活かしたポテンシャルの最大化やブランド力向上に資する機能、広域的な観光交流拠点機能の充実を図り、横須賀西海岸や三浦半島全域に波及するにぎわいを創出することを目的に運用します。

別紙2

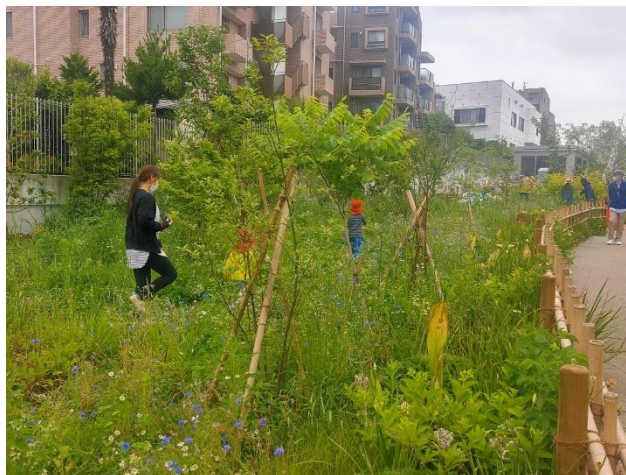
<『設計部門』 日本公園緑地協会会長賞受賞 緑地広場「シモキタのはら広場」 詳細>

株式会社ランドフローラ(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:川村秀一)が実施設計、施工を手掛けた緑地広場「シモキタのはら広場」(所在地:世田谷区北沢2丁目 下北沢駅前)は、同コンクールで、『設計部門』の日本公園緑地協会会長賞を受賞しました。

受賞団体:小田急電鉄株式会社、世田谷区、株式会社フォルク、株式会社ツバメアーキテクト、株式会社ランドフローラ



一般社団法人シモキタ園藝部が、のはらの植栽の活用育成管理業務を日々実施しています。



子供たちが自由に遊ぶことのできる自然なけもの道

■緑地広場「シモキタのはら広場」について:

下北沢駅南西口前に位置する緑地広場「シモキタのはら広場」は、民間事業者が地域住民からの声を受け止め、挑戦する地域を応援する「支援型開発」という体制のもと、公共区画と民間区画の一体的な整備により、2022年4月に下北沢駅南西口前に開園しました。地域の声を反映した『さまざまな草花や樹木、虫たちと共生する野生の庭』をコンセプトとしており、五感で楽しむ「都会の原っぱ」を目指し、基本計画、基本設計、実施設計、施工、及び竣工までを複数の事業者による共同開発で行っています。

■都市公園等コンクールについて:

一般社団法人日本公園緑地協会 (<https://www.posa.or.jp/>) が主催する、供用を開始している都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設、管理運営に係る作品を広く募集し、特に優秀な作品の設計、施工、管理運営等を実施した者を表彰することにより、都市公園の設計、施工及び管理運営等の技術水準の向上および新たな時代の都市公園の創造に寄与することを目的に実施しているコンクール。2023年は都市公園制度の始まりとされる明治6年太政官第16号が公布されてから150周年となることを記念し、「都市公園制度制定150周年記念部門」を設け実施。

以上